

令和4年度における金沢大学長の業務執行状況の確認及び評価について

令和5（2023）年7月
金沢大学学長選考・監察会議

金沢大学学長選考会議は、国立大学法人金沢大学学長選考等規則第13条の規定に基づき、監事との連携協力のもとで令和4年度における学長の業務執行状況についての確認を実施した。

1. 確認の経過

第64回学長選考・監察会議（令和5年6月15日（木）開催）において、令和4年度における業務執行状況及び学長就任初年度の取組みについて和田隆志学長から、約30分にわたるプレゼンテーションがあり、その後、各委員による質疑応答・意見交換を行った。

2. 評価の結果

令和4年度における学長の業務は、順調かつ適切に執行されていると判断する。

就任間もない、令和4年5月には、金沢大学未来ビジョン『志』を策定、学内外に公表した。未来ビジョンに基づくミッションと、そこから導き出されるアクションプランを、学生、教員、職員が共有しあうことで「オール金沢大学」でビジョンの実現に向け、方向性を同じくし改革を進める強い意志を学長から感じることが出来た。

就任後1年間という短い期間にもかかわらず、経営面では、令和4年11月には、文部科学省「国立大学経営改革促進事業」への採択、研究面ではバイオマス・グリーンイノベーションセンター（BGIC）の本格稼働や金沢大学発ベンチャーキャピタル（VC）事業計画の認定取得に向けた取り組み、教育面では、融合学域観光デザイン学類の定員増（令和6年度魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増）の採択、女子枠特別入試の導入、Promising Researcher制度の導入等精力的に取り組む、着実に成果を挙げたことは大いに評価する。

「対話重視」という姿勢の下、文部科学省や他の国立大学等との連携強化や教職員のみならず、学生とも講義や「雑談」を通じ交流している。それらの対話を通じ、学長の強い想いを全構成員に共有し「オール金沢大学」による取組を推進し、金沢大学未来ビジョン『志』に掲げた「未来知による社会貢献の実現」に向けて取り組んでいただきたい。

3. 評価結果の公表

業務執行状況の結果については、本学のWebサイトに公表し、周知を行うものとする。